

# Arcserve Unified Data Protection (Arcserve UDP)ライセンスキー登録方法

## もくじ

### [A. Arcserve UDP エージェント\(Windows\)ライセンス登録方法](#)

#### [ライセンスの解放について](#)

### [B. Arcserve UDP コンソールからのライセンス登録方法](#)

### [C. Arcserve UDP エージェント\(Linux\)ライセンス登録方法](#)

## 本ドキュメントの対象製品

Arcserve UDP v6

---

## ライセンスキー登録について

正規登録製品としてご使用いただくには、ライセンスキーの登録が必要です。

※本製品のライセンスキーおよびパッケージは、紛失されても再発行できません。大切に保管してください。

## 【注意事項】

※製品版のライセンスキー登録が行われない場合、30 日間のトライアル期間となります。30 日間のトライアル期間が終了するとライセンスエラーとなり、製品が利用いただけなくなりますのでご注意ください。トライアル期間中またはトライアル期間終了後、製品版のキーをご登録いただきますと、製品版として継続利用が可能です。製品のご購入につきましては[ジャパンダイレクト](#)までご相談ください。

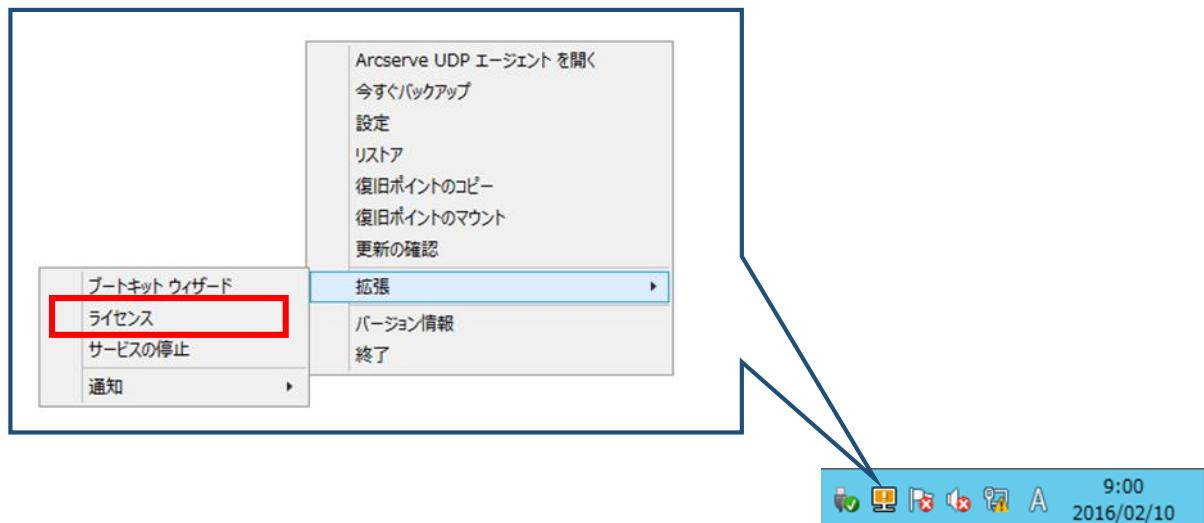
※Arcserve UDP v6 に付属の Arcserve Backup や Arcserve Replication / High Availability のライセンス登録につきましては下記ページより各製品のライセンスキー登録方法のご案内をご参照ください。

### ◆製品のライセンス方法のご案内

<http://www.arcserve.com/jp/lpg/licensing.aspx>

## A. Arcserve UDP エージェント(Windows)ライセンス登録方法

- (1) 製品導入後、管理者権限のあるユーザーでログインし、タスクトレイ上の UDP アイコンの右クリックメニューから [拡張] メニューを展開し、[ライセンス] を選択します。



※上記以外に「CA\_LIC ディレクトリ」にある「CALicnse.exe」を実行すると同様にライセンスキー登録画面を呼び出す事が出来ます。

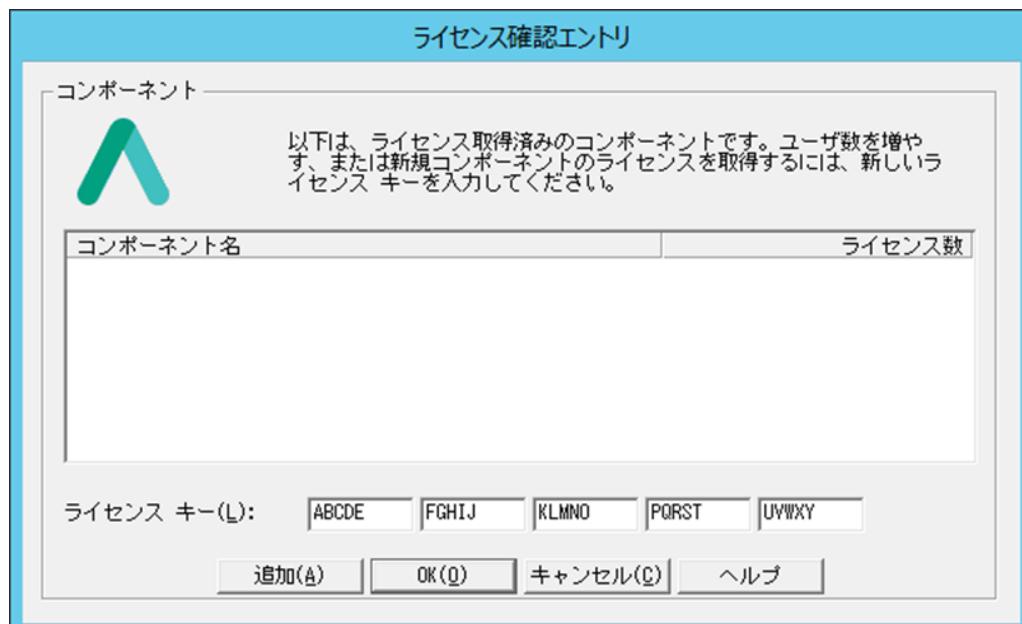
「CA\_LIC ディレクトリ」は通常下記のパスに存在します。

```
<%SystemDrive%¥Program Files¥Arcserve¥SharedComponents¥CA_LIC>
```

64bitOS の場合

```
<%SystemDrive%¥Program Files (x86)¥Arcserve¥SharedComponents¥CA_LIC>
```

- (2) [ライセンス確認エントリ] 画面が表示されます。



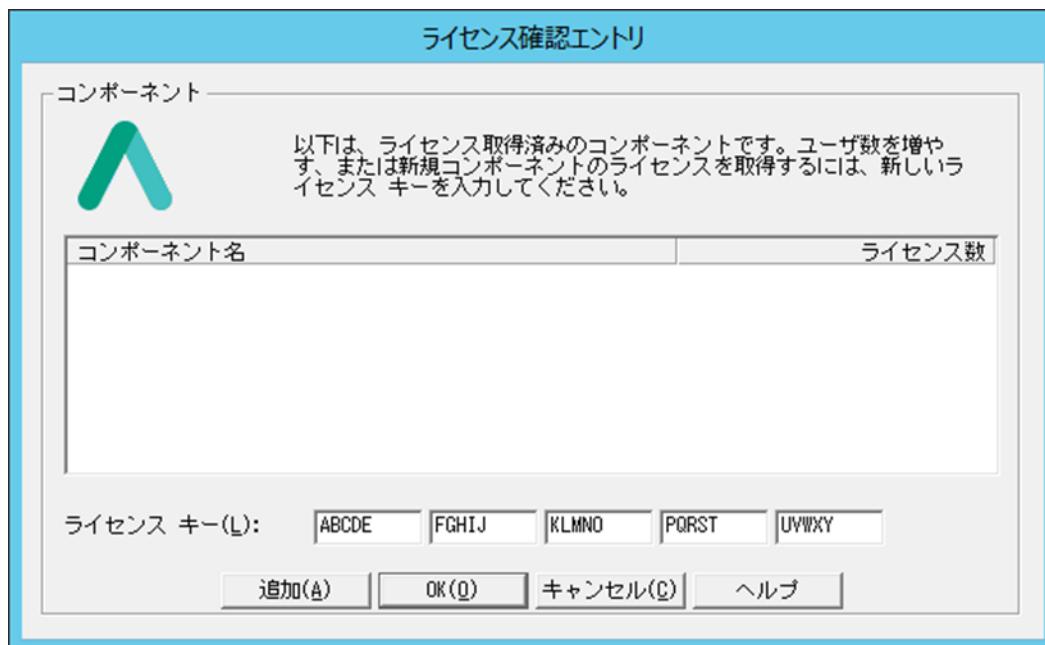
(3) ライセンス キーの項目へ 25 桁のライセンス キーを登録します。

※ カット アンド ペーストによる入力も可能です。

※ライセンスキーが Arcserve UDP 用であることを確認してください(登録は必須)。

併記されている Arcserve Backup Tape r17 for Arcserve UDP は UDP でバックアップしたデータをテープへバックアップする際に利用する Arcserve Backup 用のライセンスです(登録は任意)。

(4) 入力完了後、[追加]をクリックします。



(5) 登録した[コンポーネント名](製品名)と、[ライセンス数]を確認し、[OK]をクリックし画面を閉じます。

(6) 再度登録画面を呼び出していただくと、ご利用可能なライセンス情報が表示されます。

## B. Arcserve UDP コンソールからのライセンス登録方法

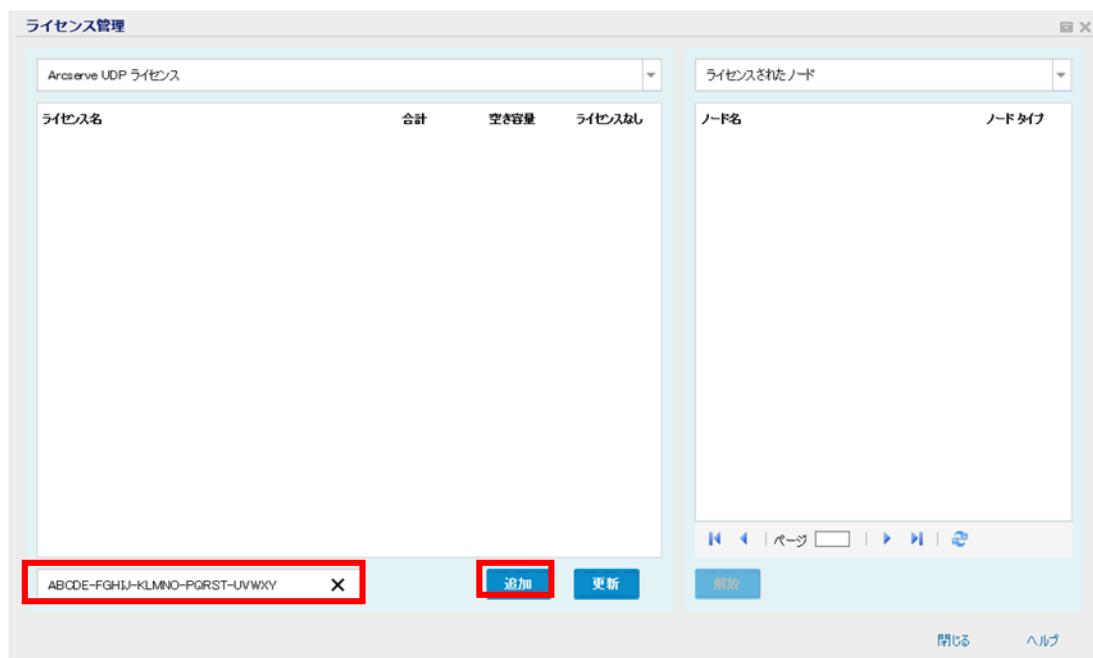
UDP 管理コンソールを使用してライセンスの統合管理を行う場合は、管理コンソールが導入されているマシンでライセンス登録を行ってください。

- (1) 管理コンソール画面の[ヘルプ]、[ライセンスの管理]の順にクリックし、[ライセンスの管理] 画面を表示させます。



- (2) [ライセンスの管理] 画面に 25 衝のライセンス キーを入力し、[追加]をクリックします。

※ カット アンド ペーストによる入力も可能です。

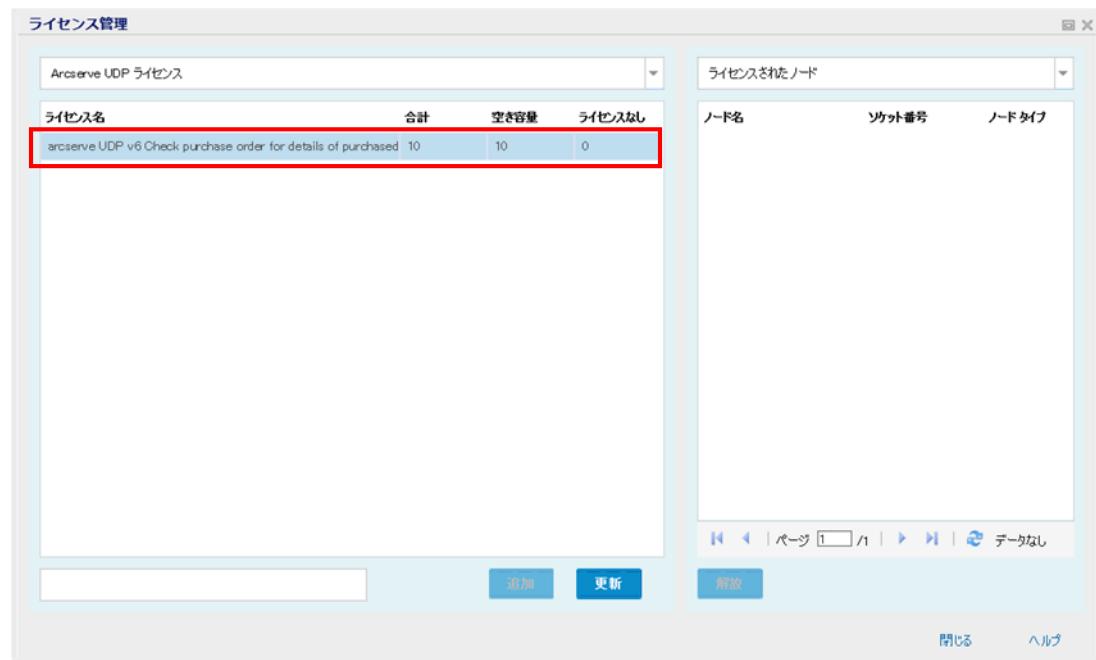


※本画面からは Arcserve UDP のライセンスキーのみ登録できます。

なお、Arcserve Backup Tape r17 for Arcserve UDP（UDP でバックアップしたデータをテープにバックアップする際に利用します）のライセンスキーは本画面からは登録できませんので、先述の CAlicnse.exe からご登録ください。

(3) 入力完了後、[追加]をクリックし、[ライセンス管理] 画面を閉じて、再度開きます。

ライセンスが追加され、[すべてのライセンス]に追加されていることを確認します。

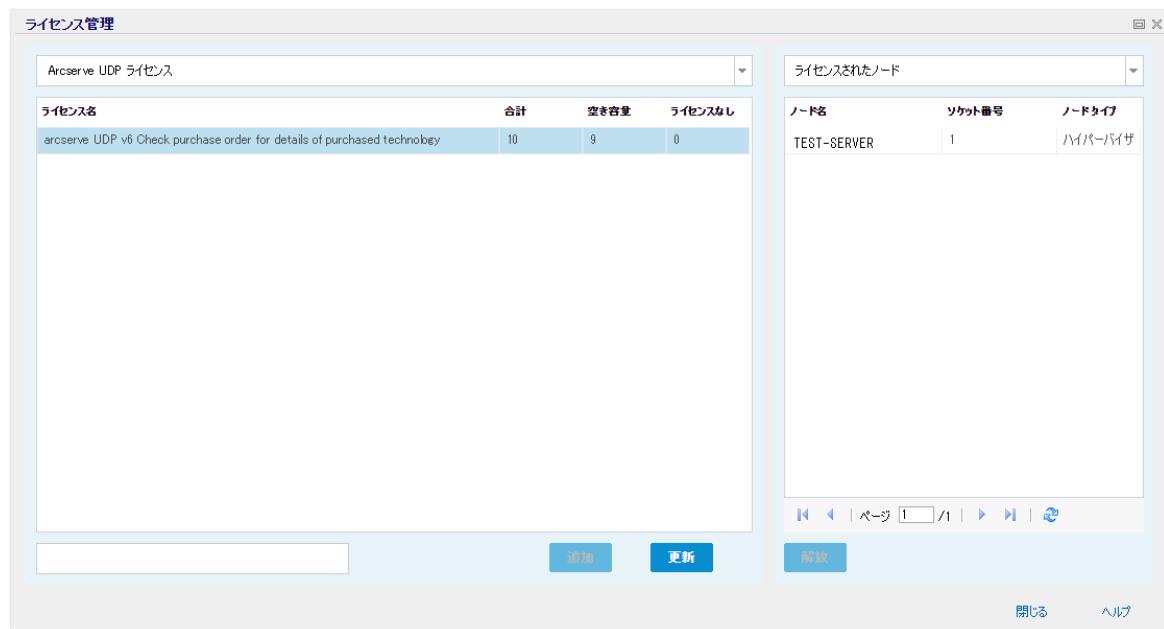


※ライセンスされたノードに、ノード名が表示されないことがあります。実際に該当のノードのジョブを実行いただくとリストに表示され割り当て状況が更新されます。これは、実際にジョブを実行し割り当てられたノードが表示される仕様のためです。

## ライセンスの解放について

[ライセンス管理] 画面ではノードに対して割り当てられたライセンスを解放する事が出来ます。

解放されたノードのライセンス割り当ては解除され、別のノードに対してライセンスを再利用する事が出来ます。



※[ライセンス管理] 画面に関する詳細は、下記 製品マニュアルをご参照ください。

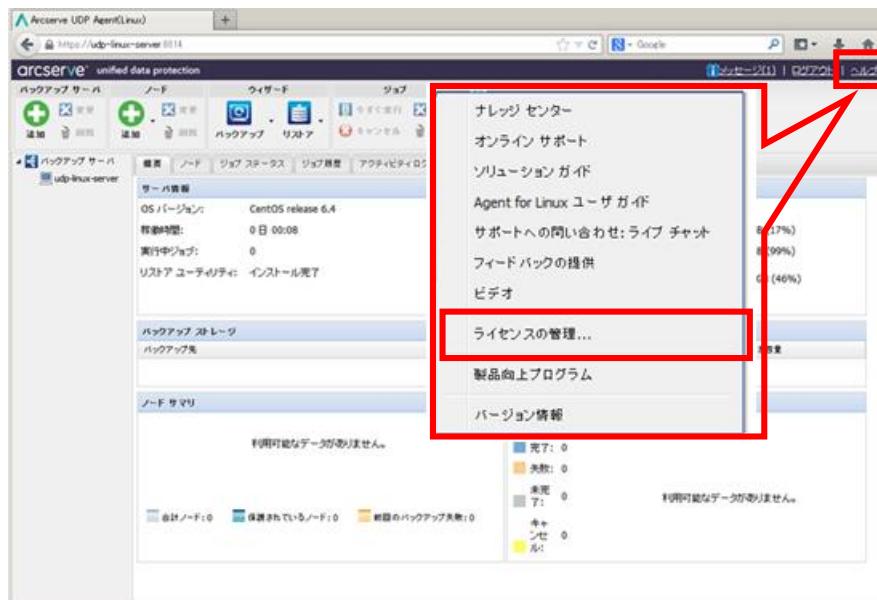
Arcserve Unified Data Protection 6.0 ソリューション オンライン ヘルプ

- [Arcserve UDP ライセンスを管理する方法](#)
- [ライセンスの追加](#)
- [ライセンスの解放\(ライセンスの削除\)](#)
- [仮想マシン\(VM\)を保護する場合\(ハイパー/バイザの指定\)](#)

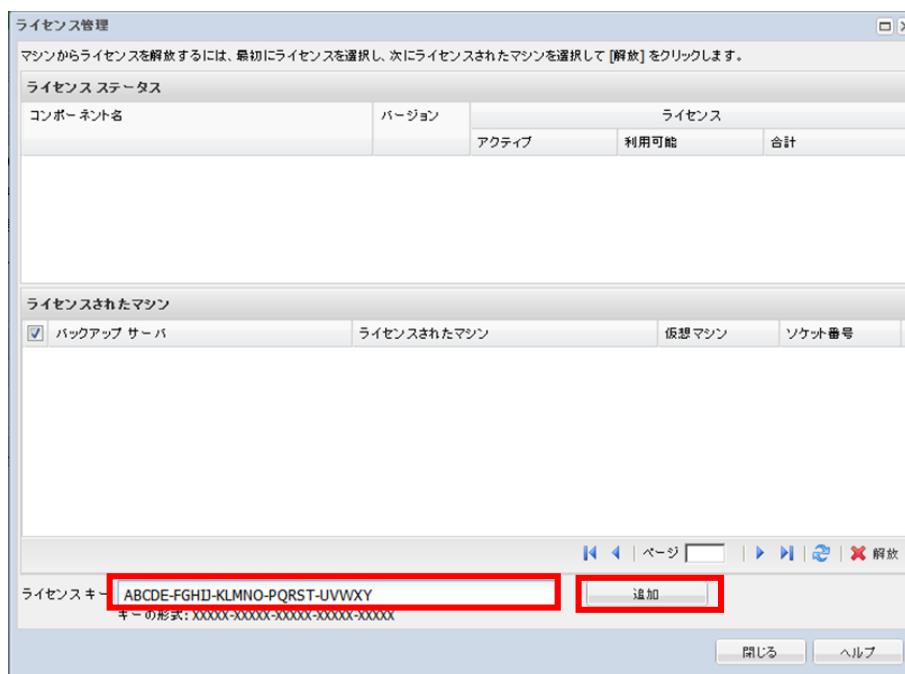
### C. Arcserve UDP エージェント(Linux)ライセンス登録方法

(1) Arcserve UDP エージェント(Linux) Web インターフェースにログインします。

(2) [ヘルプ]-[ライセンスの管理]をクリックします。

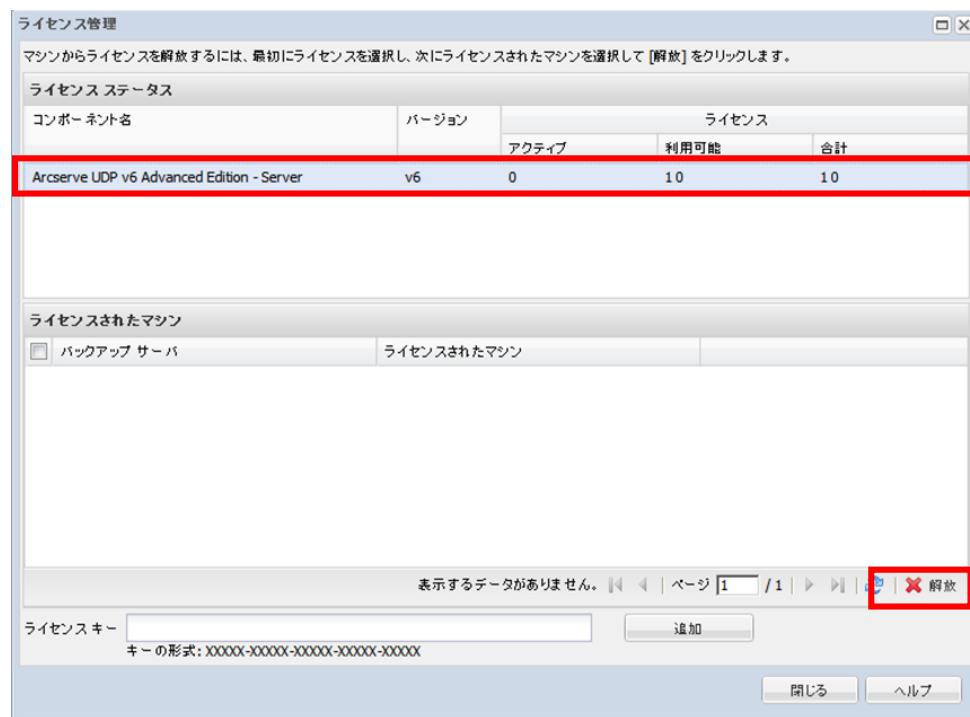


(3) [ライセンス管理]画面の[ライセンス キー]フィールドにライセンス キーを入力し、[追加]をクリックします。



(4) [ライセンス管理]画面を閉じて、再度開きます。

ライセンスが追加され、[ライセンス ステータス]領域にリスト表示されます。



※[ライセンス管理] 画面についての詳細は 下記 製品マニュアルをご参照ください。

Arcserve Unified Data Protection Agent for Linux オンライン ヘルプ

・[ライセンスを管理する方法](#)